

後見人等候補者の養成にかかわるカリキュラム（令和4年度）

1. 入門講座

基本項目	学習内容	具体的内容	講師・担当	日時・場所
権利擁護サポーター養成講座	社会福祉協議会と地域活動について	・社会福祉協議会の役割について ・権利擁護を支える地域活動	行政職員 推進機関職員	8/29(月) 10:00~16:00 ※昼食は各自ご用意下さい コミュニティプラザひまわり 会議室1
	オリエンテーション	・市民成年後見人とは何か ・市民成年後見人に求められるもの ・清瀬市における市民後見人の位置づけ ・市民後見人に期待したいこと		
	後見人活動報告・演習	・市民成年後見人の活動報告	市民後見人	
	日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)	・地域福祉権利擁護事業の背景について学ぶ ・生活支援員の活動の実際を学ぶ	推進機関職員	
	グループワーク		推進機関職員	
	注意点	・知り得た情報は他に漏らさないなどプライバシーの配慮など		
実習等計画、実習内容の説明、今後のスケジュール等				

2. 基礎講座（講義・演習）

基本項目	学習内容	具体的内容	講師・担当	日時・場所	
基礎講習（講義）	成年後見制度や関連法など	被後見人等への支援の基本的な視点 ・個人の尊厳と自己決定の尊重 ・能力とは何か ・残存能力の活用について ・自己決定の特色と援助の必要性 ・後見人としての判断基準 ・成年後見制度が必要とされる理由 ・後見人や家族の意思ではなく、本人を尊重することについて学ぶ	社会福祉士	9/12(月) 13:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 会議室204	
	支援のための法律知識（民法等）	・後見人に必要な法律知識 ・業務に関連する法律 ・法律知識をどのように生かすか ・日常的な契約（福祉サービス、医療サービス、生活支援等）について学ぶ	弁護士	9/26(月) 14:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 講座室	
	障害の理解と対象者理解（認知症）	障害の理解と対象者理解（認知症）	・認知症について ・支援に際しての基本的態度や留意点 ・実際の支援上の課題	医師	10/3(月) 13:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 会議室204
		障害の理解と対象者理解（知的障害）（精神障害）	・知的障害について ・精神障害について ・支援に際しての基本的態度や留意点 ・実際の支援上の課題	医師	
	対象者理解及び関連制度理解	本人を支える制度と社会資源（身上保護を含む）	・社会資源とは ・被後見人が利用できる社会資源の概要について学ぶ ・介護保険、障害者自立支援、生活保護、国民保険、年金などの制度について理解し、市民成年後見人としての活動の中でどう関係してくるのかを学ぶ	13:00~13:50 介護保険課 14:00~14:50 障害福祉課 15:00~15:50 保険年金課	10/17(月) 13:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 会議室204
	消費生活相談の実態と対応	消費生活相談の実態と対応	・消費者被害の特徴・対処方法 ・クーリングオフについて ・消費者センターの機能と役割 ・消費者被害の予防方法や日常的な見守りの大切さについて学ぶ	消費生活センター	10/31(月) 14:00~16:00 <u>消費生活センター</u>
基礎講習（演習）	専門職後見人からの実践レポート（ケーススタディ）	・後見業務の流れ ・家庭裁判所・後見監督人の役割について ・事例を通しての実際の後見業務（後見人業務を行う上での工夫、今後の課題について）	司法書士	11/7(月) 13:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 会議室204	
	後見人活動報告・演習	様々な場面における成年後見人としての対応演習	社会福祉士	11/21(月) 13:00~16:00 コミュニティプラザひまわり 会議室204	
	対人援助の基礎（被後見人に対する）	・社会福祉援助技術の基本を学び、成年後見人等としての対応を考える。	13:00~15:00 社会福祉士	12/5(月) 13:00~16:00	
	効果測定（小テスト、レポート等）	・自らの言葉としてまとめることで学習の理解度を図る。	15:00~16:00 推進機関職員	コミュニティプラザひまわり 会議室204	
			・今後についての個別面接		12月中旬 別途調整

※ 裏面に続く

3. 研修カリキュラム【応用・選択】

基本項目	具体的内容	ねらい	講師・担当	実習先
後見人活動報告 ・演習	高齢者施設実習			特別養護老人ホーム(予定)
	障害者施設実習			【精神】調整中 【知的】調整中
	後見関係事務演習(申立て時書類、財産目録、後見等計画書、収支予定表、報告書、終了時手続等)	・登記事項証明書の取得方法や、財産調査の方法の他、事務的な手続きの方法について学ぶ。	司法書士	
	後見監督・サポート説明		推進機関職員	

4. 実習活動

基本項目	具体的内容
地域福祉権利擁護 事業における生活 支援員	福祉サービスの利用援助（相談、情報提供等）
	金銭預かりサービス（銀行において預金出し入れ）
	支援計画に基づく利用者訪問、声掛け等身上保護 等
専門職、市民成年 後見人について同 行実習	利用者対応、関係機関との調整など実際の対応を学ぶ